

## 令和6年度入学生 キャリア教育全体計画書

学校番号	58	学校名(課程)	伊那北 高等学校(全日制)
------	----	---------	---------------

## 1 全体目標

○ 卒業後の進路を選択し、自らの人生を拓くために、必要な能力や態度を育てる。

## 2 現状・課題

- ・自己分析・自己理解が不十分なことから将来への展望がつかめないでいること。職業に関する情報が不足していること。
- ・自ら課題を見つけ主体的に解決に取り組む態度や意識が希薄なこと。
- ・コミュニケーション能力や協働性が不十分なこと。

## 3 つけたい力

【基礎的・汎用的能力】(人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力)【キャリア・デザイン力】を含める。

学校で言い換えた力でもよい。

- 進路選択を的確に責任を持って行える自己理解・情報収集・情報処理・計画実行の能力
- ものごとに主体的に取り組む、課題を見つけ解決する能力
- 社会規範・マナー・コミュニケーション能力や協働性など、社会人としての基礎的な自己管理能力
- 上級学校進学に必要な学力

## 4 内容

指導項目	指導方針(対応する項目)
① 自己の在り方、生き方を考え、社会参画の意識を醸成する	ア 日々の学習・学校生活全体をキャリア教育の場とし、生徒にも意識させる。(①②③④⑤⑥)
② 仕事や社会で必要となる力(基礎的・汎用的能力)を育む	イ クロスペンアカデミー講演会・就業体験活動・「こんにちは先輩」「フィールドワークⅠ・Ⅱ」など、学外のさまざまな方々に関わる機会を持つ。(①②③④⑥)
③ 様々な学習や体験を通して勤労観、職業観の形成を促す	ウ 総合的な探究の時間を軸として、家庭や地域社会、大学や産業界と連携し、社会での体験活動を企画する。(①②③④⑥)
④ 卒業後の進路を選択し、職業を通してどう社会と関わり、どう生きたいのかを構想し続ける力を育む	エ 年に2回授業評価(生徒)を行い、以後の取り組みや指導に還元する。(①④)
⑤ 新しい環境に適応するとともに他者との望ましい人間関係を構築する。	
⑥ 様々な情報を収集し、進路選択の幅を広げる。	

指導場面等	指導計画・キャリア教育の視点等(実施学年)
教科の授業	・学ぶことの大切さを理解させ、主体的に学習に取り組む態度と実践力を育てる。 ・思考力、判断力、表現力を育成するため、意見交換、課題の探究、プレゼンテーション活動を行う。
総合的な探究の時間	・グループで行うミニ課題研究や自主研究を通じて、課題解決能力を育てる。<1~2> ・研修旅行を通じて、同じ意見や考えを持つ仲間が集まり、自主的に研修を行う。<2>
特別活動	クロスペンアカデミー講演会、教育実習生と語る会<1>、東大見学会<1~2>、卒業生と語る会<3>
校外の体験活動(就業体験活動等)	総合的な探究の時間「フィールドワーク」<1>、理数科地学研修<1>、オープンキャンパス<1~3>、看護師体験<1~3>
地域や産業界等との連携	総合的な探究の時間「こんにちは先輩」<1>、総合的な探究の時間「フィールドワーク」<1>、総合的な探究の時間および理数科課題研究「企業見学」<1>

評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒、教員アンケート、面接などで生徒の変容とキャリア教育の取組みを評価し次年度に反映させる。</li> <li>・生活実態調査、授業評価、学校評価を活用する。</li> </ul>
中学校との連携 (指導の継続性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校入学時までのキャリア形成の振り返りを、進路希望調査によって行う。</li> <li>・学校説明会や進路講演会で高校のキャリア教育を説明する。</li> </ul>
校内の推進体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導部にキャリア教育係を設置する。</li> <li>・学年進路担当者とキャリア係の連携</li> </ul>
キャリア・パスポートの取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学までのキャリア・パスポートや高校でのキャリア計画をふまえた上で、生徒に対話的にかかわり、生徒自身の主体的な進路選択がなされるようにする。</li> </ul>

## 5 学年別指導計画

	1 年	2 年	3 年
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自主的な学習習慣を確立する。</li> <li>○自分の興味がある分野・職業の話聞くことで、将来の学びや仕事について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職業適性を含めた自己理解を深化させ、目標を具体化させる。</li> <li>○進路実現のための情報収集を通し、自分の喜ぶ学部学科と将来の仕事との関係を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主体的に進路を選択させ、進路希望を実現させる。</li> </ul>
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○総合的な探究の時間</li> <li>○大学模擬講義</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学部学科適性検査</li> <li>○大学模擬講義</li> <li>○模擬試験・難関大模試</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大学模擬講義</li> <li>○模擬試験</li> <li>○大学突破講座</li> </ul>
評価	・生活実態調査、授業評価、学校評価	・生活実態調査、授業評価、学校評価	・生活実態調査、授業評価、学校評価

年間指導計画と各取組の関連

\*就業体験活動、校外活動は□で囲む

	教 科	総合的な探究の時間	特別活動 等	その他 (面接・評価等)
1 年	(記入例) ・共生社会と福祉(家庭) ・ともに生きる社会を目指して(公民)	福祉社会における私たちの役割を考える 特別養護老人ホーム訪問(交流)	特別養護老人ホーム訪問に向けて (講話及びホームルーム活動)	ポートフォリオを用いた自己評価
	4 シラバス説明	・SDGsについて学ぶ ・こんにちは先生 ・フィールドワークⅠ 上伊那地域の企業や施設を見学し、地域に存在する課題を見つける	・高校生活オリエンテーション クロスベンアカデミー講演会 ・進路希望調査 ・教育実習生と語る会 ・大学模擬講義 ・医療系講話	・毎月を振り返っての評価 ・面接週間 ・三者懇談会 ・生活実態調査
	夏 休		・オープンキャンパス ・医療体験実習 ・就業体験	
	10	・こんにちは先輩 本校 OB・OG を含む社会人との対話を通じて、自己の在り方生き方について思索を深める ・フィールドワークⅡ グループごとに自ら設定した課題に関する施設を訪問し、調査・研究活動の一環とする。	・科目選択希望調査 ・進路希望調査 ・進路講演会	・面接週間 ・前期授業評価
	12			
	1 3 春 休	・課題研究発表会	・東大見学会 ・医療体験実習 ・進路希望調査 ・オープンキャンパス	・生活実態調査 ・後期授業評価 ・学校評価
2 年	4 シラバス説明	・自分の進路に関連した学問領域の探究	・クロスベンアカデミー講演会 ・進路講演会 ・学部学科適性検査 ・進路希望調査 ・医療系講話	・毎月を振り返っての評価 ・面接習慣 ・三者懇談会 ・生活実態調査
	7		・医療体験実習 ・就業体験	
	夏 休			

	9	<u>研修旅行</u> 興味関心別またはコース別の研修	・医療系セミナー ・進路希望調査 ・進路講演会 ・大学模擬講義 ・難関大意識付け講座	・面接週間 ・前期授業評価
	12			
	1			
	3	・総合的な探究の時間 ・課題研究発表会	・東大見学会 ・国公立大学受験講演会 ・進路希望調査 ・医療体験実習	・生活実態調査 ・後期授業評価 ・学校評価
	春			
	休			
3 年	4		・クロスベンアカデミー講演会 ・進路講演会 ・大学突破講座 ・医療系講話	・毎月を振り返っての評価 ・面接週間 ・三者懇談会 ・生活実態調査
	7			
	夏			
	休			
	9			
	12			
1	・医療系セミナー	・面接週間 ・前期授業評価 ・学校評価		
3			・小論文・面接指導	